

美
が
あ
る
そ
こ
に

美の國の名残

博物館の審美眼

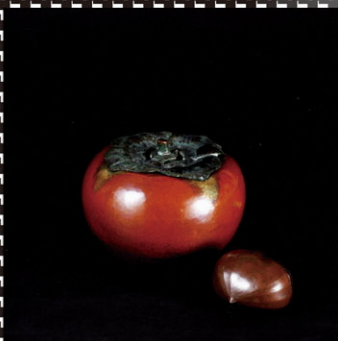
令和3年4月29日(木・祝)～6月27日(日)

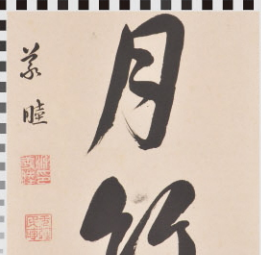
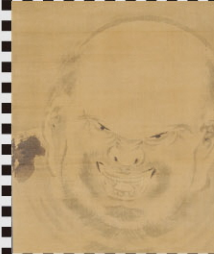
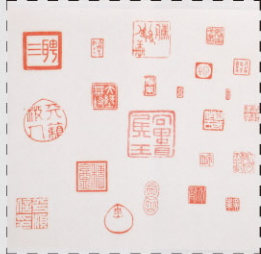
秋田県立博物館企画展示室 ◎ 観覧無料

開場時間◎午前9時30分～午後4時30分

休館日◎毎週月曜日 ※祝日と重なった場合は翌日

博物館の収蔵資料を「美」という観点から問いなおします。かつて博物館にあった美術部門へのオマージュとして、美の国秋田に育まれた美意識を探ります。





美の國の名残

博物館の審美眼

令和3年4月29日(木)祝〜6月27日(日)

秋田県立博物館企画展示室◎観覧無料

開館時間◎午前9時30分〜午後4時30分
休館日◎毎月第1曜日 ※5/2日(土) 1/2場(各15時)日火曜日
お問い合わせ◎秋田県立博物館
〒010-0124秋田市金沢島崎字後出2
TEL018-873-4121 Fax018-873-4223

昭和50年の開館以来、秋田県立博物館が収集してきた資料には多くの美術品が含まれていました。その大半は平成6年にオープンした秋田県立近代美術館へ移管され、秋田の美術を網羅するコレクションとなっています。美術部門が収集してきた古美術品は民俗・歴史など美術以外の部門に於いて、時代を語る貴重な資料として、その一部が博物館で收藏され続けました。同じ理由で他部門に於いても、古美術品などの収集が続けられた経緯があります。

しかしながら、博物館の組織において「美術」が部門から姿を消したこともあり、美術資料が顧みられる機会が少なく、收藏庫の奥深く眠ったままでした。他部門が収集した美術品も参考資料として展示説明されても、美術品としての価値や作者についての言及は多くありませんでした。

今回の企画展はおよそ半世紀をかけて秋田県立博物館が収集してきた様々な收藏品を目を向け、「美」という観点で迫ろうとするものです。歴代学芸員の幅広い見識と感性豊かな審美眼に敬意を表し、「美の国秋田」の遺産としてご紹介いたします。この機会に秋田にもたらされ、風土に育まれた美の世界を御覧ください。

図版掲載資料名

- 上段右から1 作者不詳「牧給華布袋図模写」部分、2 額(寸七)・漁具制作用型
- 3 「寺師廣業印」部分、4 住司家跡繪(金箔唐蓮華・下絵発行)
- 中段右から5 住吉神社奉納定型、6 伝播椿山、團扇(豆田先生六十八歳肖像)部分
- 7 在田線定規、箱田番匠愛用部、8 拓本「千手観音菩薩」部分、画、高橋萬年
- 下段右から9 作者不詳「馬図」部分、10 作者不詳「阿弥陀如来」
- 11 佐竹義隆「二草秋月竹平安」部分、12 目打

表・図版掲載資料名

- 右側上から1 小笠物々齋「騎馬武者像」、2 白岩焼「観音型小瓶
 - 左側上から3 田中龍山「香炉」、4 作者不詳「地蔵菩薩像」、5 漆器取用「かまかま」
- ◎ギャラリートーク・担当学芸員による作品解説を行います。
4月29日(木)祝、5月15日(土)
両日とも午後2時から展示会場にて。
※状況により中止する場合がございますので予め御了承ください。